

小さい〜叔母さん

或處に小さい〜叔母さんが居ました。叔母さんはお友達も何もなしで、たつた一人でお家に居ました。

或晩、此の小さい〜叔母さんは、小さい、小さいベッドに這入て寝ようとする、どこかで何だかわからない音がしました。叔母さんは氣になつてなりませんので、早速とび起きて、小さい小さい臘燭をつけました。先づ叔母さんの小さい小さいベッドの下を見ましたが、何もありませんでした。それから後の方の小さい〜入口の戸を見ましたが、そこも、どうもありませんでした。叔母さんは小さい、小さい臘燭を消して、小さい小さいベッドの中へ、もぐりこみました。そして小さい〜目めをつふつて、とろ〜眠らうとする、また音がしました。小さい〜叔母さんは飛

び起きて、小さい〜臘燭をつけました。トントントン〜、小さい〜段々を下りて、小さい小さいお臺所へ行きました。小さい〜テーブルの下をのぞきましたが何もありませんでした。それから、小さい〜ストーブの中も見ました、けれど、何もありませんでした。それから又トン〜トン〜小さい〜段々を上つて、叔母さんはお室へかへりました。小さい〜臘燭を消して、小さい〜ベッドの中へ、はりました。小さい小さい目めをつぶつて、スヤ〜と、よい心持に眠りはじめました。すると、どうしたんでせう。又音がしました。叔母さんは小さい〜ベッドから飛び起きて、小さい〜臘燭をつけました。トントントン〜、小さい〜段々を下りて小さい小さいお臺所へ行きました、そして小さい〜茶

箆筒に這ひ上つて、小さいく戸を、一寸ほんの小さい小さい位、一寸だけのぞいて見ました。すると、中から、ブツと音がしました。

「わかつた、わかつた」

と小さいく叔母さんが云ひました。そしてふしぎな事には、それつきり、ブツと云た音だけで何もありませんでした。

(イギリス)

小さいパン

或日、お婆さんがパンを二つこしらへやうと思つて、火ばちのあみの上に、のせて置きました。するとお爺さんが『これはおもしろいさうなパンだ、私はおもしろいパンが何よりも好きぢや』と云て、一つ、つまみました、パチンと二つに割つて食べはじめました。さうすると、オヤ／＼、も一つの方のパンが、

「つかまへたら、えらい」

と云ひながら、戸の外へころがり出しました。お婆さんがそれを見つけて追ひかけましたか、とう

とうつかまえられませんでした。小さいパンはどんな／＼ころがつて山を昇つて、坂を越えて、田舎のお婆さんが、バタをこしらへて居るお家の處まで行きました。お婆さんは丁度バタをこしらへあげる處で、子供のジャックさんは、そばで見えて居ました。お家の戸はあけつぱなしになつて居ました。すると何だか、コロ／＼轉がつて、お臺所の方へ行たものがあります。

「ごらんなさい、お母さん、何でせう」と、ジャックが申しました。